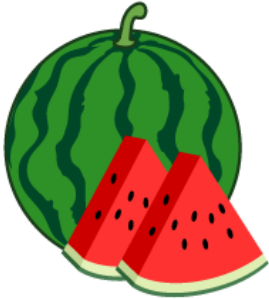


お盆休みも受け入れさせていただきます。

～ お問い合わせをお待ちしています～



平素は、地域包括ケア病棟“彩り”に患者様をご紹介頂き、ありがとうございます。今年のゴールデンウィーク期間中は、9名の患者様を受け入れさせていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、例年のこととなりますが、今年も、皆様の夏期休暇の期間中、一時的に在宅サービスの継続が困難となる場合など、当院の地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れさせていただきます。

今年は、東京オリンピック開催に伴い、7月22日(木)～25日(日)が4連休、8月7日(土)～9日(月)が3連休になっています。ベッドの調整の都合もあり、早めにご連絡頂きましたら幸いです。引き続き、地域包括ケア病棟“彩り”をよろしく申し上げます。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)

問い合わせ先：0774-73-1818 (担当：梶田・中嶋・松田)

地域の先生方とご紹介患者様のために

～ 3ヶ月が経ちました～

配架、刷新を希望される先生方はお気軽に連携室までご連絡下さい。



地域医療推進部地域医療連携室に配属となり約3ヶ月が経ちました。現在、地域の医療機関の先生方からご依頼いただいた患者様の診察・検査予約業務、受付でのご紹介患者様の対応(問診、診察室へのご案内など)、地域の医療機関の紹介パンフレットの作成などを行なっています。

診察・検査予約業務では、ご紹介元の先生方や患者様のご要望に副えるよう努めています。また、受付でのご紹介患者様の対応では、受付で患者様をお待たせすることなく、スムーズに患者様を診察室へ案内できるよう心がけています。今後は、問診票の記入時間の短縮(対応スペースの追加など)や、サービス向上を図ることを目的としてご紹介患者様を対象にアンケートを実施したいと考えています。紹介パンフレットの作成についても、患者様に地域の医療機関を広く知って頂き、また、当院が地域の医療機関との連携を強化していることを知って頂けるよう、手に取っていただきやすいよう、配架場所、レイアウトなど試行錯誤しています。

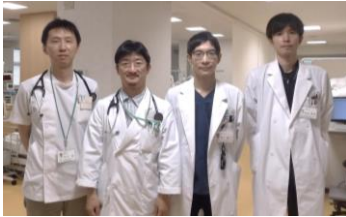
様々な業務を通じて、地域の先生方とご紹介患者様に満足していただけるよう引き続き頑張りたいと思っています。(地域医療連携室 主事 坪井 和祥)

第2回オンライン症例報告会のご案内

～ お気軽にご参加下さい ～



今年度、地域医療連携室では、地域の先生方との連携強化のため、「オンライン症例報告会」を開催しています。第1回は、「脳卒中予防の地域連携と一次脳卒中センターの役割について」（脳神経内科大島洋一郎長）というテーマで6月11日（金）に開催し、お忙しい中、5名の先生方にご参加下さいました。



腎臓内科の医師

第2回は、7月8日（木）午後3時～午後3時45分の予定で、腎臓内科医師によるご紹介患者様の症例を報告させていただきます。詳細については、後日改めてご案内させていただきます。なお、オンライン症例報告会は、気軽に参加して頂けるよう、時間を30分～45分程度としています。

地域医療連携室より

～ 地域のことを考えるきっかけに ～

令和3年度が始まり、数ヶ月が過ぎました。昨年からの新型コロナウイルス感染症に加えて、今年度は例年より早い梅雨入りとなり、「泣きつ面に蜂」とはまさにこのことか…と思っています。

*

転職や転勤などでこの地域に来られた方、この地域に慣れてこられた頃ではないでしょうか。この地域、いかがですか？私は他地域から15年ほど前にこの地域に来て、住み始めたのですが、当初はこの地域のことをわからず、大変苦勞しました。患者さんやご家族との関わりの中で信頼関係を築くためには地域のことを知らなきゃと思い、休みの日に東部三町村まで出かけたり、インターネットで地域のことを調べたりもしました。甲斐あって、今では随分この地域のことを知ることができました。地域のことを知ると、仕事も効率よくできるようになり、そして、何よりもこの地域のことを好きになりますので、まだ、この地域に慣れておられない方がおられましたら、まずはこの地域を知ることから始めるのをオススメします。

さて、私は現在、木津川市加茂町に住んでいるのですが、住んでいる地域も例外ではなく、少子高齢化が進んでいます（息子が通っている地元の小学校も1学年50人程で、年々児童数が減っています）。今年度、住んでいる地区の自治会の役員をしているのですが、同じ地区の方々から日々の生活の中での“困り事”を聞く機会があります。具体的には、集中豪雨による土砂災害対策や土地所有者不在による荒地対策、自治会の役員のみならず手不足の問題などです。これまで、医療や介護の視点から地域包括ケアシステムについて考えていましたが、地区の方々の日々の“困り事”を聞くと、医療と介護だけでは解決できない様々な問題があることを改めて痛感しているところです。なかなか解決できないことが多く、役に立っているとは言いがたいのですが、地域のことを考える機会となっていて、今後活かせることができればと思っています。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）